

伝統的「血の道法」により開発された下着「血行美人」による効果について

○川島 みどり* 室谷良子** 田口 富雄*** 八塚 美樹**** 毛利 郁子*****
日本赤十字看護大学*日本フットケア協会**富山赤十字病院***富山医科薬科大学****
高岡市民病院*****

はじめに

伝統的「血の道法」とは、全身の表在性静脈の還流を促すことによって、重力によって下垂した骨格筋を正置する療法である。その原理に基づき提案されたブラジャー「血行美人」-(グンゼ製品)は、リフターによる重心の安定化をはかることによって、鎖骨胸筋三角の三角筋および大胸筋による橈側皮静脈の圧排を解除し、静動脈を含む循環動態の促進を図るという全く新しいコンセプトの下着である。

【目的】

製品化したブラジャー「血行美人」の根拠を解剖学的に説明するとともに、本品の着用者らの主観的評価、ならびに、若干の身体徴候の客観的データにより、その着用の効果を明らかにする。

【方法】

- ①新しいブラジャー「血行美人」着用者の中から、本研究の主旨を理解し、口頭により了解の得られた看護師 50 名を対象にして質問紙による主観的評価を行った。
- ②上記の者のうち、肩こりを訴える看護師 20 名(平均年齢 30 歳 ± 4.76 歳)を対象として、「血行美人」着用前、着用 1 ヶ月及び 2 ヶ月後に測定した生理学的データ-体重・体脂肪率、上腕動脈血流量(超音波診断装置 ALOKA SSD-6500 使用)、眼圧測定、末梢血、血清検査、血糖値、尿酸値等、全データが収集できた 5 名のうち、今回は著明に改善効果を示した者(48 歳女性)について報告する。

【結果】

- ①質問紙による調査に回答を寄せた着用者の殆どが、血の道法による新しいブラジャー「血行美人」着用感のよさを認め、従来のブラジャー着用時には見られなかった「気持ちよさ」「背筋の伸び」「足もとのあたたかさ」などについての主観的評価を述べている。
- ②客観的データ上著変のあった H 氏は、着用前体重 77kg で肩凝りを訴えていた看護師であるが、今回、着用により、体重は 1 か月後 1.9kg、2 か月後 5 Kg 減少、体脂肪率は 2 か月後 1.2% 減少した。また、上腕動脈血流速度が 1 ヶ月後 24.1% 増加した。その他血糖値、尿酸値を始め、種々の血清検査でも数値の低下を見た。本人の訴えである肩こりは著明に改善した。

【結論】

本研究により得られた着用者らの主観的データ，ならびに若干の客観的データから，伝統的「血の道法」により提案されたブラジャー「血行美人」は，三角筋および大胸筋による橈側皮静脈の圧排を解除することによって静脈還流の促進をうながし，全身の循環動態に影響を及ぼすというコンセプトの正しさがある程度実証できた。今後これを仮説にして，血流の改善が健康に及ぼす影響を明らかにし，女性の肌着の改善に努力したい。